平成25年度 第1回鴨川市スポーツ推進審議会 会議録

日 時 平成25年10月15日（火）16時00分

場 所 文化体育館 2階会議室

出席委員 浜田征夫・花山藤太郎・庄司朋代・鈴木美一・山下洋介
清水宣雄・村永信吾・田中松巨・水野和枝

事務局 野田教育長・原課長・岩瀬課長補佐・岡安係長・長幡主任主事

1. 開会（16：00）

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまより平成25年度 第1回鴨川市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。本日、滝口委員の欠席、鈴木美一委員より遅れるというご連絡をいただいております。

委員の出席は、8名なので、スポーツ推進審議会設置条例第5条第2項に基づき、過半数を超えているため、会が成立したことを報告。

2. 委嘱状交付

【野田教育長】委嘱状交付

新しく委員になった、浜田委員へ交付。

3. 会長あいさつ

【山下会長】あいさつ

4. 教育長あいさつ

【野田教育長】あいさつ

【事務局】

資料確認

【事務局】

この会の会議録を作成し、公開することについて説明。

会議録を説明し、署名していただく委員の選出について事務局案として水野委員にお願いしたいと提案。→異議なしと声あり。

5. 報告事項

(1) 平成25年度スポーツ事業について

【事務局】資料に基づき説明

【事務局】

報告事項につきまして説明させていただきました。

【山下会長】

事務局より説明がありました。

その件につきまして、ご質問等受け付けたいと思います。

【浜田委員】

今、説明のありました、体育センターの解体と芝張りのことですが、プール跡地に残土といいですか、かなり土がありますが、それはあのままですか。残土を処理する予算は組まなかったのですか。

【事務局】

体育センター体育館グラウンドの残土ということですが、当初、どの程度の残土が出るか計算はしていたのですが、体育館の解体に伴い、予想以上の残土があり、現状のところ、ああいう形で残土の場内処理という形でいましばらく置いておいて処理したいと思っております。

【山下会長】

今、課長から説明がありましたがご理解いただけましたか。

【浜田委員】

残土はずっとあの場所に置いておくということですか。

せっかく整備して、整地して広くしようとしてもあそこに残土があると使い勝手が悪いです。

こちらは予算の関係でこのようになったのかもしれませんが、最初からこのような工事は残土が出ると承知しておかないといけないものなので、残土を放置しているということは、利用する側としてはなかなか難しいです。ずっと放置しておくようなら、考えていただきたいです。

今回、拝見した施設でもそうです。初期はお金をかけているが、その後にお金をかけないので切羽詰ったところで莫大なお金が必要となるという感じになっている。

このいい例が、陸上競技場が2種から3種に変更になった時に歴代の市の執行部は考えてなかったのではないかと、お金がかかるということを。ものを造れば必ずお金がかかるので。考え方が全てずれているのではないか。

我々は、サッカー場にしろ、消耗品と思っている。近隣の市町村を見ると、施設等は毎年、補正して修理しながら施設管理をしている。館山市、南房総市と施設整備に力を入れている。

最近の利用者は施設が良ければ来る。利用者の立場に立ち、運営を考えていかないとスポーツをする利用者は獲得できないのではないか。

【野田教育長】

執行部といたしまして、貴重なご意見ありがとうございました。
まず、体育センターの残土につきましては、結果的に残土が残ってしまうという形になってしまいましたが、今後は考えていかなければなりません。
ありがとうございました。

【山下会長】

今、浜田委員からご意見がありましたが、浜田委員の意見の大半は利用者の立場に立ってのご意見だったと思います。ある程度計画性を持っていただきたいというご意見だったと思います。今後
に生かしていただきたいです。
他に何かございませんか。

【庄司委員】

今日は、視察に参加出来なくて申し訳ございませんでした。
今回、体育センターの体育館が無くなったことで、壊す前に、現在の利用されている方々がいて、その方々にご理解いただいているので問題はないと確認した上で解体したと聞いておりますが、前利用者の方から本当は体育館があったほうが良かったとか、他に移動したが使い勝手が良くないと
か言う声があったのであれば聞かせて下さい。

【事務局】

体育センター体育館の解体に伴います、前利用者のことですが、まず、解体した経緯ですが、非常に老朽化しておりまして、危険な状態であったため、解体という形でご理解いただきました。前利用者は、学校開放でそういった施設で対応していただき、以前よりは、利用施設の場所が遠く
なってしまったと満足のいかないこともあるかもしれませんが、移動していただき、それなりの活動はしていただいております。

【山下会長】

進行上、不手際がございまして申し訳ございませんが、今、報告事項の（１）でございしますが、浜田委員と庄司委員に利用状況と体育センター解体についてご意見いただきましたので、これから報告事項（１）・（２）を併せて利用状況を説明させていただきます。
庄司委員よろしいですか。

【庄司委員】

わかりました。

【山下会長】

それでは、利用状況を（１）・（２）併せて事務局から説明させていただきますので、事務局よろしく
お願いいたします。

(2) 平成25年度運動施設利用状況及び整備について

【事務局】資料に基づき説明

【事務局】

報告事項につきまして説明させていただきました。

(鈴木美一委員出席)

【山下会長】

報告中に鈴木委員が到着されました。大変お忙しいところありがとうございました。

台風の都合上、予定を切り上げて、審議会を行っております。よろしくお願いいたします。

事務局の説明が終わりました。それではご意見がありましたらお願いいたします。

【清水委員】

前回の時にも、意見を述べさせていただきましたが、社会体育施設というところで、鴨川市民に無料で開放されているということで、市外の団体には原則貸し出しはしない訳ですよ。先ほど、浜田委員からもご意見がありましたが、施設整備して県外からの利用者を誘致というご意見がありましたが、それを含めまして、利用の状況等を拝見した際に、率直に申しまして、非常に受身である、つまり、それぞれのスポーツをしたいという団体があって、それに準備をするという形ですと、なかなか利用状況が増えていかない、向上していかないのが現状だと思います。地域のスポーツクラブにいたしましても、高齢化が進み、人数も減っているということを考えますと、利用者を増やすイコール、鴨川市民にスポーツを楽しんでもらう、健康を維持してもらおうということを考えますと、今のように、利用したい人がいるから利用してもらうではなくて、積極的にプログラムのサービスを考えて、このようなことをするので、ぜひ来て下さいのような、働きかけが必要ではないかというふうに思います。そういうふうに考えた時にこの事務局の限られた人数の中でこのようなサービスをどれだけ出来るか、なかなか大変な部分があるかと思います。そういうことだと、昨今の指定管理者制度もございまして、そういうところをうまく活用しながら、また鴨川には、総合型地域スポーツクラブもございまして、そういうところとうまく連携を取りながら、また、場合によっては民間の力もうまく活用しながらプログラムサービスを充実するということをぜひ検討していただきたいというふうに思います。

実際、埼玉県では、ミズノの会社に体育館を管理してもらい、ミズノといいますと、スポーツ用品を作成するということに限定されがちですが、実はそういうプログラムをもってございまして、そういうプログラムが入ることで、利用者が画期的に増えたという例がございまして、そういったことも踏まえ、ご検討いただけたらと思います。

【野田教育長】

今、清水委員から、ご意見がありましたとおり、実は27年度に、江見小学校、太海小学校、曾呂小学校が統合になります。そうしますと、3つの体育館が空くこととなります。現在、旧大山小学校の体育館、旧主基小学校体育館、旧江見中学校の体育館は、平成27年度統合小学校の体育館となりますが、そういった体育施設を社会体育施設として、きちっと移管していくことを検討しております。

社会体育施設は、市内の団体に限るといふ条例になっております。その条例を変えていかなければならないと執行部の方も検討課題となります。民間に委託ということも、実は、鴨川中学校にはプールがありません。KCCスイミングクラブに委託して、子どもたちが、天候に関係なく、利用出来るようにプールプログラムを組んでいて、実際にプールを建設するよりも安いとの状況でございますが、今後、課長とも相談した中で、社会体育施設も市内に利用者を限定しているのですが、市外の方にも利用拡大ということになり、市内が無料で市外を有料とする。これも検討課題です。この場合、市内の利用者が利用したい時に利用出来ないのではないかと懸念もあります。しかし、施設が空いている時には、市外からの団体も受け入れて、収入を増やすということも執行部の方も考えております。ご意見ありがとうございます。確かに、攻めていかなければならないということをおもいました。ありがとうございました。

【清水委員】

そのご意見少し補足を。社会体育施設として、市民の方に無料で提供するという事は、利用者にとってありがたいことだと思います、ただ、鴨川市民全体の人数とそこで利益を受けている人達のことを考えますと、必ずしも無料でなくても良いのだと思います。利用者に負担していただくことも検討していただくことも一つと、あともう一つ、先ほど、浜田委員からのご意見にもありましたとおり例えば、スポーツツーリズムですね、スポーツ施設を大々的に利用して、お客様を見込むというのとあと、スポーツヘルスツーリズムという、ただ単にスポーツということではなく、健康の面も踏まえ、亀田病院もございますので、うまく活用しながら、場合によっては、鴨川市には、宿泊施設が非常に沢山ございますので、そういうところもうまく活用しながら、例えば、夏休みの時期に色々な体育館を活用して、ミニバスケットボールのチームの県外のチームを勧誘し、会場を提供するだけでなく、宿泊の場所もありますよと、そういう場合は、親御さんにも十分な施設を用意することが出来ますし、ミニバスケットの指導者が必要なら、本大学の学生を派遣し、そういうところでご協力することが出来ますし、このようなことをご検討いただけたらと思います。

【事務局】

今、清水委員からご意見ありましたように、社会体育施設の使用料負担につきましては、当然、今後とも連携しながら、検討していかなければならないです。

【山下会長】

他に何かございませんか。

【庄司委員】

7ページにスポーツ施設一覧表がございますが、一戦場の体育館はどのような位置づけですか。

【事務局】

一戦場の体育館は、公園施設ということで、管轄としては、都市建設課ということとなっております。施設は有料施設となっております、体育館とテニスコートとなっております。公園ということから、私どもスポーツ施設の管轄ではないということです。

【庄司委員】

そこが、やはり、利用者とか市民からするとおかしいと思うところです。確かに位置づけが違うのは承知しておりますが、例えば、ミニバスケットの試合をするのにどこの施設を借りましようかと言った時にそれはスポーツ振興課なのか、何処に借りに行くのかではなくて、鴨川市のエリアの中で提供しなければならないのではないのか。我々、審議会の中で、スポーツ振興課としてはこれだけを管轄しております。というのは良いが、欄外としてこのような施設もありますと、一戦場の体育館と記載するなど、踏み込んでいただきたいという要望です。

【事務局】

こちらの資料は、スポーツ振興課の資料となっておりますがこのようなこととなっておりますが、市外の方からの問い合わせにつきましては、勿論、一戦場体育館、あるいは、県営の内浦山県民の森など、こちらとしても積極的にご案内させていただいております。

【庄司委員】

努力はありがたく思いますが、たまたま、次の議題でテニスコートが出るということもありますのであえてここで発言させていただきました。
お答えは結構です。

【浜田委員】

関係ないかもしれませんが、先ほど、条例を変えてというお話がありましたが、この条例を変えるのはどなたがなさるのですか。

【山下会長】

そちらは、その他でお願いしてよろしいですか。

【浜田委員】

分かりました。

【清水委員】

庄司委員の意見について、同様のことをいうと、国で言えば厚労省関係について、シニアの人達の健康について推進していると思われませんが、そういう部分で、小中体育館施設で、シニア向けの活動はあるのでしょうか。その活動の団体は、利用人数の中に含まれているのでしょうか。それとも、人数に含まれていないのでしょうか。

【事務局】

最近、スロトレと言われるスローなトレーニングということでご年配の方が旧大山小学校体育館で木曜日の午後から、約70名で活動しております。

実際、拝見した時は、50名くらいで講師を1名つけて、その方の指示の元、何事も無理せず誰にでもできるトレーニングをしておりました。あと、グラウンドゴルフは地域スポーツクラブがありまして、そこで活動しております。

【清水委員】

そのような活動はこの利用の人数に含まれていますか。

【事務局】

含まれております。

【清水委員】

分かりました。それでぜひ、言いたいのは、先ほど申しましたとおり、プログラムを作成して、できるだけ多くの方にスポーツに親しんでもらい、健康になっていただくという面から言うと、当然のことながら、この方々にもプログラムを作成していくこととなると思いますが、そうすると、先ほどの庄司委員の話になると思いますが、このようなプログラムは、スポーツ振興課の管轄ではないと思いますが、そういったところを一本化していただき、すっきりした形で活動してもらうことが良いかと思えます。よろしくお願ひします。

【村永委員】

ちなみに、スロトレの団体は、どこが主催となって活動していますか。

【事務局】

旧大山小学校体育館で、大山、吉尾、主基の方が多く利用しております。

【村永委員】

それはボランティアか委託しておりますか。

【事務局】

会員ではなく、指導者ですか。

【村永委員】

はい、指導者です。

【事務局】

確か、整形関係の方だと聞いております。

【村永委員】

その整形の関係の委託は、健康推進課か何かですか。

【事務局】

最初は健康推進課から話があり、どこかで活動出来ないかということでしたが、いずれは
独自で活動したいとのことだったので、独自で活動しております。
委託等の詳細は分かりかねます。

【村永委員】

分かりました。

【花山委員】

この意見等に確認ですが、スポーツとはどのようなスポーツですか。
スポーツ推進審議会とはどこを目的の会議ですか。

【事務局】

スポーツとは、競技スポーツ、レクリエーションそういったものを含めたものでございます。

【花山委員】

それは全体ということですか。

【事務局】

競技だけでなく、そういうスポーツを普及させる、あるいは広く生涯スポーツに役立つ機会
をつくる意味でのスポーツも含んでおります。

【野田教育長】

本当にスポーツということでは、この団体はスポーツなのかという団体が開放を利用していた
という実態もあります。

例えば、ダンス的なもの。それはスポーツになるのかと思いますが、実際には開放団体に含ま
れています。私が以前学校にいた時も大きな体育館に5人くらいでダンスをしていました。

あと、サークルで施設借用の要望があれば、実際貸し出します。

しかし、それをスポーツと呼べるのか。でも、社会体育、社会教育となるのかと。

【花山委員】

今、少子化になっていて、子ども達がスポーツする機会が少なくなっているの、我々は、専
門スポーツの方を推進しておりますのでスポーツについて、確認をしておきたかったです。

【山下会長】

それでは、6. 議件（1）社会体育施設・宮庭球場の廃止について議件とさせていただきます。

6. 議件

（1）社会体育施設・宮庭球場の廃止について

【事務局】資料に基づき説明

【事務局】

議件につきまして説明させていただきました。

【山下会長】

事務局から、宮庭球場の説明がありました。それに関して何かご質問ありますか。

【花山委員】

こちらの賃借料についてですが、世間的にとんでもない金額です。
今後、何かあるときは、検討して無駄な税金を使わないようにお願いします。

【山下会長】

今後は、宮庭球場は統合小学校の駐車場ということになりそうですが。

【花山委員】

地代が高すぎます。

【野田教育長】

総合グラウンドもお借りしているのにこのような金額になっております。

【山下会長】

宮庭球場は、現状復帰ですか。

【野田教育長】

統合小学校が出来た際には、地主とも相談するのですが、今は庭球場ですが、駐車場にして借用させてくださいという交渉をこれから行っていきます。今後の検討課題となっております。

【花山委員】

数字を見ると、賃借料は高いと感じます。

【山下会長】

清水委員お仕事の都合で退席ということでご苦勞さまでした。何かご意見ございましたら、お電話でも結構なのでお願いします。

施設については、有料化になってきておりますので、その辺も踏まえて、先ほど、浜田委員からも全部が無料なら無料で良いが、規約改正等もありますから、教育長もいらっしゃいますし、何かございましたら、その他、色々お伺いしたいと思います。

【野田教育長】

それでは、条例につきまして、課長の方から。

【事務局】

施設につきましてですが、社会体育施設の設置及び管理に関する条例ということで、条例の中で。

【野田教育長】

こちらは、鴨川市の条例となります。

【事務局】

施設の位置づけ、そういった使用については無料とするとありますが、こちらの条例改正というのは勿論、執行部の方で改正案を議会に提出して、議会に認めてもらった後、無料を有料にするといった手続きを経て、変えることが出来るとなっております。

【浜田委員】

条例について、どういう形に変えていくか。議員の方もいますし、推進委員もいますので。

【野田教育長】

はい、推進委員の方々のご意見を参考にして、執行部で相談して議会に条例改正をします。

【浜田委員】

最終的には議会で決めるのですね。今まで、このような話はなかったのですか。

【野田教育長】

私もまだ教育長になって1年ぐらいですが、この間ではありませんでした。

【山下会長】

条例改正については、ありませんでした。ただ、近隣の市町村はどうかということはお話していました。それらについては、他市と格差があったかどうかという話や、今後、鴨川市も使用料を加算させなければならないという話はしてきましたが、条例等の話はありませんでした。

今、電気料金が上がる、おそらく、もう下がることはないかと思っておりますので、また、施設に関しては諸々の経費がかかってきますし、先ほど、浜田委員が言ったように、そろそろそのような意見をきちんと取り入れて、利用者負担ということを真剣に考えなければならない。

先ほど、庄司委員の方から、一戦場の体育館の話がありました。一戦場体育館が有料であるとか、一般の方には、分からないことなのですよ。利用者がそういうことが分からないようでは良くないので、無料なら無料、有料なら有料と分かりやすくしなければならないと思います。

勿論、教育長等は考えていらっしゃると思いますが。

鈴木委員何かありませんか。

【鈴木委員】

私も、体育施設に限らず、公民館も、南房総市は、公民館の使用料を徴収しているというところもあるようです。

そういうところからすると、有料化にすることは、良いと思いますが、ただ、一般の収入のある団体から、子どもからと、色々な利用者がある訳です。子どもからも利用料をとらないといけないというふうになってしまいます。その辺をどのように考えているかということです。

子供と大人でどう分けるのか、問題になると思います。使用料を払うことに問題ないということなら良いですが、そうでない場合など、今後どのようにしていけば良いか。利用者の要望もあると思いますので、一方的に設定するのはどうかと思います。

【浜田委員】

鴨川市内で、学校体育施設は、10いくつとありますよね。一戦場の体育館は、スポーツ振興課の管轄ではないのですよね。責任の所在も違ってきますよね。一戦場の体育館は実際、観光協会に委託して維持管理していますよね。

【事務局】

都市建設課です。

【浜田委員】

そうすると何かあった時には、都市建設課の方に問い合わせるのですよね。

観光協会は関係ないということですよ。あちらは、都市建設課が管轄ということは、誰も知らないと思いますが。

【事務局】

私の説明がうまくなく申し訳ございません。

あの施設自体、名称が魚見塚一戦場公園という施設です。その公園の中にスポーツ施設なのですが、体育館とテニスコートが造られたということです。

当初、雇用促進事業団の方が造られて、その後、市の方に無償で譲渡され、公園の中にあるということで公園の管理というのが、鴨川市役所の都市建設課が、公園を一括管理しています。

その管理の方を現在は、観光協会に指定管理という形でお願いしております。

実際は、観光協会の職員が常勤しております。

施設自体は、都市建設課の管理となっております。

【浜田委員】

経過は、分かっております。何を聞きたいかというのと、ある事故が起こった時に、受付に管理者を聞いたが、管理者が分からないと言われました。そういう縦割りでは分からない。

その後、都市建設課の職員が来て、実は都市建設課が管理しているものですよと言っていたが、どこにもそのようなことは書いてありません。

怪我をした際に壊したのも、怪我をした方に修理をお願いしていると言われた。

体育施設として貸し出していて、不備があり怪我をしたのに、そのようなことを言われた。

その体育館はぜひ、議員にも見てもらいたい。ガラスが取れやすくなっている。

社会人なら良いのですが、子どもは、そういうことを分からずに夢中で突っ込んでいき、怪我があったことがありました。そんな、怪我があった時に、管理者が分からないなどと対応されることは、スポーツ振興課に聞いたら、都市建設課で管理していると聞いたので、すぐ都市建設課に電話をしました。我々からしたら、体育施設は、スポーツ振興課の管轄だと思うじゃないですか。

そういうことが多々ありますよね。昔の無償の時に第三セクターに任せるなら、誰かに何かあった時にはどうするか話しておかないと、知りませんでは。

それともう一つ、一戦場でホテル側との問題であそこに駐車していると、ロッテが来た時とか体育館が使えないので、使う時、ちょっと子どもを下ろすとか荷物を降ろすとかした時、ホテルからクレームがきます。これも管理がずさんだから。

委員は、施設を見て、本当にこの施設を使っていいのかとか、隅から隅まで見てもらわないとぱっと見て外見だけで、物事判断して。これからもこういうことあると思うよ。

体育センターだって、結局、老朽化で解体したが、ただで使っているってことがあるから、私たちが水曜日利用する時だって、たばこの吸殻とかがあります。

だから、誰が悪いとかではなくて、体育センターの社会人が使った後はいい思いをしないんだ。

ママさんバレーもしかり、みんなそうですよ。やったら、やりっぱなしが多いんだよ。

トイレだって、水洗トイレにトイレットペーパーの筒を入れているんですよ。

紙がないから、腹いせにそういうことをしているんだよ。だから、行く行くはお金を取って、使用するようなシステムをとって、有料化した方がいいと思います。そうしたら、もう少しきれいに使います。

【野田教育長】

学校開放施設は、日中は学校が使っていますから、何か不備があれば、学校から連絡があります。そういう団体につきましては、スポーツ振興課から、注意があり、守れない場合は使用を停止します。ただ、社会施設については、常時はいないので、スポーツ振興課から定期的に見回りに行っています。

【浜田委員】

たまにありますよね。9時以降の利用については、通達があることがありますよね。でも実際、9時過ぎになって、職員に見回りしろということは、酷な話であって、犬の散歩に行ったら電気がついていたりとかで。まあ実際、ほとんどの団体が9時過ぎまでやっていますよ。それはずっとやっていますよ。

【野田教育長】

そういう団体には注意して、約束を守れない団体は使用を禁止します。

【花山委員】

年間、利用している団体については、年間事業計画を提出してもらって、誓約書的なものを記入してもらって、一番の問題は、保険ですね。保険はきちんとさせておかなければ。一戦場のことに関しては、指定管理者ということで、観光協会が受けてやっているけど、旅館、ホテルが我が物顔でやっているところもある。今は、訴えるとかあるから、これからもっとあるので。

【野田教育長】

今、問題になっているのが、いくつもあります。例えば、学校幼稚園が、統合して、遊具が古くなった時にその遊具で怪我をした時にどこが責任を持つのかという問題になっております。今、そういったことも含めて、施設について、検討しようということを教育委員会だけではなく、都市建設課等も考えております。

【花山委員】

今は、柵とかがあって、その柵の中に入って怪我をしたらその責任はどこが取るというようなことがある。

【野田教育長】

教育委員会としても、都市建設課にしても、瑕疵についてもはっきりさせたいと思いますので。

【浜田委員】

造るのなら。これからもいろんなもの造ると思いますが、やはり、使う人が良かったと思うものを造ってもらわないと。ただ、集まって、予算組んで、造って、その後丸投げでは長続きしない。

【浜田委員】

陸上競技場だって、昔の設備があれば、今頃、ナイター設備が付いていたら、お客がいっぱい来ていたと思うよ。

やはり、旅館がどうのではなく、設備をしっかりしてもらわないと。

【山下会長】

委員の皆様から、貴重なご意見を承っていますが、施設の修理のこともありますし、また、廃校になる施設の用途の問題、色々、ありますが、ぜひ、教育長も皆さんご意見を考慮しながら、今後の市の施設の施設運営状況ですが、その辺を踏まえて、細かく、審議していただき、ありがたいと思います。

【花山委員】

最後にスポーツ審議委員ということで、スポーツに関わっている、先日、房日新聞に体育館ここでも要望を何度かしておりましたが、建設が市民会館と多目的という形でいますと聞いていますが、とにかく、スタンド付きのきちんとした体育館というものを造っていただきたい。

それをとにかく要望していきたいです。体育館専用というものを要望します。

【野田教育長】

これから、総合体育館ということで検討会が立ち上がると思います。その時は、委員の方々にもご協力いただきたく、お願いいたします。

【山下会長】

本日は、貴重なご意見ありがとうございました。また、何かございましたら、スポーツ振興課を通じてご意見よろしくお願いいたします。それでは、これで審議会を終了いたします。

17:27 終了

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をします。

平成25年11月25日

会議録署名人 氏名 水野和枝